

報道機関 各位

一般財団法人とうほう地域総合研究所
理事長 阿部 隆彦

「平成28年の福島県内景気見通し」 ～県内経営者へのアンケート調査結果について

当研究所では、平成28年を迎えるにあたり、昨年11月～12月に毎年恒例の「福島県内景気見通しアンケート」を福島県内各地の主要企業の皆さまにお願いし、68社からご回答を得ました。

今般、アンケート結果についてとりまとめましたので、お知らせいたします。

なお、詳細は当研究所機関誌「福島の進路」2016年1月号（1月4日発行）及び当研究所ホームページに掲載致します（掲載予定日：1月4日）。

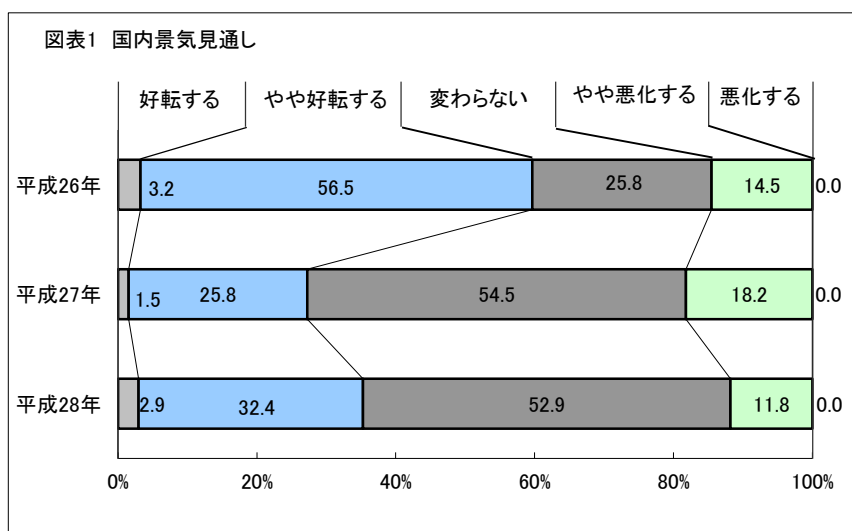
記

1. 国内景気見通し

Q. 平成28年の「国内景気」について、平成27年と比べてどのように判断しますか？

～「変わらない」が過半数を占めるも好転する予想が増加～

	平成26年	平成27年 (a)	平成28年 (b)	前年比増減 (b)-(a)
好転・やや好転	59.7%	27.3%	35.3%	8.0 ㊦
変わらない	25.8%	54.5%	52.9%	△1.6 ㊦
やや悪化・悪化	14.5%	18.2%	11.8%	△6.4 ㊦



「好転する」「やや好転する」との意見が増加する一方、「悪化する」「やや悪化する」との意見が減少しており、全体として景気が良化すると感じている企業が増加している。

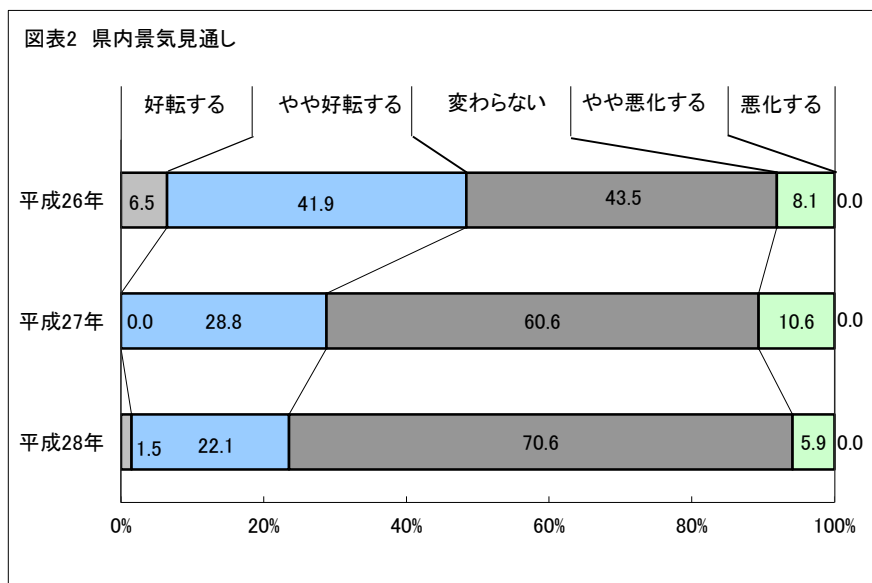
推移をみると、「好転・やや好転する」とした回答は平成26年に59.7%と半数を超えたが、27年は27.3%と大きく落込み、28年は35.3%と再び増加に転じた。一方、「変わらない」との回答は26年の25.8%から27年に54.5%と増加し、28年は52.9%とほぼ前年並み、「やや悪化・悪化」との回答は26年の14.5%から27年は18.2%と微増、28年は11.8%と微減となった。「好転する」は平成27年に1.5%であったが、28年は2.9%であった（図表1）。

2. 県内景気見通し

Q. 平成28年の「県内景気」について、平成27年と比べてどのように判断しますか？

～「変わらない」が7割を占める～

	平成26年	平成27年 (a)	平成28年 (b)	前年比増減 (b)-(a)
好転・やや好転	48.4%	28.8%	23.5%	△5.3 割
変わらない	43.5%	60.6%	70.6%	10.0 割
やや悪化・悪化	8.1%	10.6%	5.9%	△4.7 割



「県内景気」においては、「好転する」「やや好転する」とする意見は減少したものの、「悪化する」「やや悪化する」とする意見もほぼ同水準減少し、「変わらない」とする意見が増加している。「好転する・やや好転する」とする回答が平成27年の28.8%から28年は23.5%と微減となった。「好転する」とする回答は27年がゼロであったが、28年は1.5%と少数ではあるが好転予想をする企業経営者が出現している。

一方、「やや悪化する・悪化する」とする回答も、27年の10.6%から28年は5.9%と、好転傾向との回答と同様に微減となった。一方「変わらない」とする回答は、28年は70.6%と前年より10ポイント増加した（図表2）。

以上

本件に関するお問い合わせ先
 とうほう地域総合研究所 担当：佐山
 TEL 024-523-3171